



AKITA PREFECTURAL YOUTH CENTER

秋田県青少年交流センター広報

せしゅゆう

平成30年3月28日発行

第16号

〒011-0905 秋田市寺内神屋敷3-1  
Tel 018-880-2303 Fax 018-847-6350  
e-mail youthpal@tkcnet.ne.jp  
url <http://homepage2.nifty.com/youthpal/>



## 「達成感のある研修を」

秋田県青少年交流センター  
所長 佐藤悦郎  
(一般財団法人 秋田県青年会館 理事長)

今季は冬の訪れが早く、長く厳しい期間を過ごしましたが、3月も半ばを過ぎ、次第に陽射しも力強さを増してきました。雪国に住む者にとって本当にうれしい季節の到来です。

さて、秋田県青少年交流センターは、青少年を対象とした様々な研修を行うこと、青少年団体の活動の拠点として交流の機会を提供すること、県民の様々な生涯学習の場として広く活用されることなどを目的として平成11年に設立されました。平成23年度からは、一般財団法人秋田県青年会館が指定管理者として、各種主催事業を運営し、現在に至っております。

今年度の重点目標は、青少年の社会参加活動の推進、学校教育外活動の支援、小学生を対象とした英語による体験活動の推進などであり、多様なプログラムの開発を図りながら、達成感を得られる研修の実現を目指して運営してまいりました。

ここに平成29年度主催事業等をご報告申し上げますとともに、ご参加いただいた皆様、ご支援・ご協力をいただいた皆様へ改めての感謝申し上げます。今後とも、当センターの研修事業にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年度

## 秋田県青少年交流センター主催事業から

### 1 高校生徒会ネットワーク会議（H16年度からの事業）

期 日：平成29年5月19日（金）～20日（土）

参加者：県内14校42名（男子16名、女子26名）

県北・県央・県南の5校10名の生徒たちが実行委員を自発的に引き受けてくれました。彼らによる実行委員会を3回開催し、本事業の企画・運営に関する協議を行いました。

ネットワーク会議本番の交流会議では、より充実した生徒会活動を推進するために情報交換が行われ、魅力的な活動への手ごかりを求めて、熱心な研修・討議・発表が行われました。

事前資料として、県内27校から報告があり、討論の際の参考となりました。

討論のテーマは「どこまでやるの？執行部」と「協力するには？生徒会」の二つからなり、6グループに分かれて話し合いが行われ、その内容を発表しました。生徒会活動を盛り上げていくことの難しさや楽しさを共感できたようでした。参加した生徒からは、「他校のいろいろな状況を聞くことができ、大変参考になった。」「話しやすい人ばかりだったので、議論が盛り

上がった。」「今回で得たヒントを自校の生徒会で生かしていきたい。」「というコメントが寄せられました。



平成30年度の予定  
平成30年5/18（金）～19（土）

### 2 高校生リーダー養成「ニューリーダーセミナー」(H20年度からの事業)

期 日：平成30年2月16日（金）～17日（土）

参加者：県内23校56名（男子26名、女子30名）

生徒会役員を中心に新しくリーダーとなった生徒たちが集い、充実した活動を推進するための研修と情報交換を行い、リーダーとしての資質の向上を目指して実施しました。

研修初日、「高校生のための主権者セミナー」に参加した後、開講式を行い、その後、自己紹介を兼ねてグループ構築のための演習を行いました。各校のリーダーだけあって積極的に取り組み、すぐに打ち解けたようでした。夕食をはさんだ夜のグループ討議①では、「充実した学校生活とは～理想～」をテーマに、学校生活の理想像について討議しました。翌日のグループ討議②では、「充実した学校生活～現実～」というテーマで話し合い、問題の解決策を探りました。

生徒たちからは、他校のリーダーたちと意見交換ができてよかったという声があがりました。また、もっと多くの時間をかけて実施できたらとの要望もありました。



平成30年度の予定  
平成31年3月上旬（未定）

※各事業の平成30年度の開催予定日は都合により変更になる場合があります。

### 3 高校生のための主権者セミナー（ニューリーダーセミナーと合同実施）

期 日：平成30年2月16日（金）

参加者：県内23校57名（男子27名、女子30名） 教職員2校2名

（ニューリーダーセミナー参加者を含む）

18歳からの選挙権の付与に伴い、高校生を対象に投票権の行使や政治的教養について学ぶ機会を提供し、主権者としての自覚の高揚を図ることを目的に開催されました。

最初に飯田川町（現潟上市）出身の東京大学大学院教育学研究科教授の小玉重夫先生から「私たちの一票」と題して、若者の政治参加への期待などについて講演をしていただきました。グループワークでは、小玉先生の指導の下、若者の地元定着について政策を立案するという課題を与えられ、熱心に討議しました。ビジネスモデルの開発や子育て支援、交通網の充実など、さまざまな提言がなされました。その後、実際に使用される投票用具を用いて、全員で模擬投票体験を行いました。政策立案の討議が参考になったとの意見や模擬投票が新鮮だったとの感想がありました。



平成30年度の予定  
平成31年3月上旬(未定)

### 4 青少年国際交流事業（H23年度からの事業）

期 日：平成30年1月25日（木）～29日（月）

参加者：韓国寧越郡内高校生3校15名（男子8名、女子7名）

海外の青少年と相互交流を通じて、交流先の文化や歴史を学ぶとともに国際感覚を身につけ、グローバル化に対応する青少年の育成を図ることを目的に実施しています。



#### 2018韓国寧越郡青少年日本文化体験プロジェクト

今回で6回目となる韓国寧越郡青少年相談福祉センターによる「韓国寧越郡青少年日本文化体験プロジェクト」を、上記の日程で受け入れました。能代松陽高校を訪問し、積極的に交流を深めました。同校と韓国の石正女子高校とは本事業をきっかけにしたSNSによる生徒間交流があり、実際に対面することで大いに盛り上がりました。また、高校生ヤートセチーム「關心乱華」の協力を得て、ヤートセ体験やスポーツ施設を利用した若者文化体験を行い、楽しく交流しました。日本文化体験としての「ふろしき体験」や、秋田市民俗芸能伝承館での民俗芸能体験、仙北市での農家民宿宿泊体験、寿司などの日本食体験、秋田市内探索など多彩なプログラムを用意し、韓国の高校生たちも秋田の文化を大いに楽しんだようでした。



韓国寧越郡青少年相談福祉センターではこの事業の継続・発展を望んでおり、また、交流した高校からも期待を寄せられていることから、さらに充実したプログラムの開発に努めたいと思います。

なお、平澤市青少年文化センターとの相互交流は、諸般の事情により本年度は中止しました。

平成30年度の予定（平澤市との相互交流）  
Ⅰ期訪問：平成30年7月下旬  
Ⅱ期受入：平成30年8月上旬

## 5 イングリッシュキッズプロジェクト (H26年度からの事業)

期 日：平成29年8月10日(木)～12日(土)

参加者：中央地区の小学校6年生31名(男子13名、女子18名)

子どもたちが外国の人とともに活動・体験することを通して、他国の言語をより身近に感じて自らコミュニケーションをとる積極性を育むことを目的に開催しました。今年度より募集地域を秋田市から中央地区に拡大し、募集枠も広げました。

開催初日、アイスブレイクで仲良くなった後、早速3名のサポーターのもと3班に分かれて「英語でチャレンジ」に取り組みました。英語での自己紹介の仕方を習った後、



いろいろなフルーツ、野菜、動物の絵を描いて、英語のスペル、発音を習いました。その後、習った英単語を活用して、互いに自己紹介を行い、様々なバリエーションを学びました。サポーターの出身国(インドネシア、モンゴル、パキスタン)についてお話を聞いたり、最終日の活動発表に向けて、英語で話す学習に取り組みました。また、学習の合間には、英語のゲームや絵灯籠作り、ナイトハイクなどを楽しみました。最終日の「活動発表」では、たくさんの保護者の方々に囲まれながら、それぞれが自己紹介とサポーターとの英会話を披露しました。子どもたちは少しはにかみながらも、立派に発表できたことで大変嬉しそうでした。体験を通じながら英語の「聞く」「読む」「話す」「書く」に親しんだ3日間でした。



平成30年度の予定  
平成30年8/8(水)～10(金)

## 6 ユースボランティア認定事業 (H22年度からの事業)

期 日：対象事業の実施日

認定者：21名(男子6名、女子15名：大学生6名、高校生11名、一般4名)

ユースパル主催事業のボランティア活動に参加された高校生や大学生、一般の方々を対象に、ボランティア活動の認定を行いました。今年度対象となった事業は、「高校生徒会ネットワーク会議」「イングリッシュキッズプロジェクト」「ヤングフェスティバル」「青少年国際交流事業」の四事業です。「高校生徒会ネットワーク会議」では10名の実行委員が企画・運営にあたってくれました。「イングリッシュキッズプロジェクト」では、3名の外国人の方にサポーターを務めていただき、英語や自国の文化について指導していただきました。また留学経験のある方に総合サポートをお願いしました。「ヤングフェスティバル」では2名の方に司会・進行をお願いし、見事な司会ぶりでお場を沸かせていただきました。また4名の方には裏方として会場設置や運営ご協力いただきました。「青少年国際交流事業」では韓国の大学生が国際交流員の方とともに、事業のサポートにあたってくれました。



## 7 ヤングフェスティバル (H16年度からの事業)

期 日：平成29年9月30日(土)

会 場：イオンモール秋田 1Fセントラルコート

秋田県青少年交流センターでは、ユースパルを利用する青少



年団体等や高校生、大学生、地域の方々の文化活動の成果を発表・展示する機会を提供しています。今回はイオンモール秋田を会場に、10組の方々にパフォーマンスを披露していただきました。カポエイラヘジヨナルジャパン秋田によるカポエイラの実演に始まり、小学生、大学生のヤートセの競演があつて休憩。午後は小学生のカンフーの実演から始まり、高校生、青年の2団体によるヤートセ、ビートファイターACEによるヒーローショー、秋田まるまる愛好会によるダンスパフォーマンス、歌唱力抜群のアマ歌手の歌と続き、最後は県内若手アーティストである秋野紗良さんの公演で締めくくられました。秋田を拠点とする若いアーティスト



の方々に、多くの来場者から暖かい拍手が送られました。

平成30年度の予定  
平成30年9/29(土)

## 8 青少年団体間交流会 (H18年度からの事業)

期 日：平成30年3月2日(金)

参加者：県内9団体15名(男子8名、女子7名)

県内各地で活躍する様々な青少年団体に呼びかけ、各団体間の活動等の情報交換を図るとともに、ユースパルを拠点として活躍できるよう連携と協力関係を深めることを目的に開催しました。

今年度は爆弾低気圧による悪天候の中、「秋田県連合青年会」「ガールスカウト秋田県連盟」「NPO法人なまはげエリア」「NPO法人コモンビート」「秋田カタンクラブ」「秋田キャンパスネット」「秋田学生の森プロジェクトチーム」「チームわげもん」及び結成予定のよさこいチームの9団体15名が集いました。

「ファシリテーションカフェ」と題してオリジナルスマイル研究所代表の小山田聖子氏から『今あるもの、未来につながるものを見つめ合おう～団体の可能性を繋ぐ交流会～』というテーマでワークショップを行っていただきました。初めに、所属団体の活動内容や団体の特徴、年間計画などを記入したポスターをつくり、問題点の共有を図りました。その後、やりたいことや困っていることについて新しいアイデアを出し合い、改善策を探りました。打ち解けた雰囲気の中で、充実した交流会になりました。



平成30年度の予定  
平成31年3/1(金)

## 9 ユースパル夜学塾「こみっとサミット」(H22年度からの事業)

期 日：第1期：平成29年7月7日(金) 第2期：平成29年9月15日(金)

参加者：第1期：4名(男子4名) 第2期：4名(男子3名、女子1名)

若者に自分を取りまく社会や地域を見つめ直す機会を提供し、自主性や社会参加の意識を育むことを目的に開催しました。また事業を通じて幅広いネットワークの構築も視野に入れています。

第1期は(株)あきた総研代表取締役須田紘彬氏を講師に招き、「団体を組織化しよう!」というテーマで講演いただきました。ワークショップでは、「気づきの共有」「チームとは何か」などをもとに、組織化に当たってのノウハウをご指導いただきました。

参加者からは、スムーズなコミュニケーションの取り方などについて質問がありました。皆



さん仕事を終えてからの参加でしたが、団体の組織化や運営について理解を深め、楽しさや難しさを実感したようでした。少人数ながら充実した一時を過ごすことができたとの感想をいただきました。



第2期は、須田氏が運営する「シェアドリームスペース（秋田市手形）」をベースに、フィールドワークを行いました。山崎の商店街を通り、地域資源の一つである平田篤胤の墓にお参りました。後半はシェアドリームスペースに戻り、同スペースが開設された経緯や目的などについて詳しくお聞きしました。須田氏は公益目的事業として考えており、専門家の指導の下、学生などと協力してつくられた施設は、目的としている「様々な人が集まれる場所」として、相応しい施設でした。まだ認知度は低いですが、若者が活動しやすいスペースとして最先端のものであり、各所にこうしたスペースがあればと思いました。

#### 平成30年度の予定

I期：平成30年6/15（金）

II期：平成30年9/14（金）

## 10 なまはげきゃんぷ（H18年度からの事業）

期 日：平成30年1月12日（金）～14日（日）

参加者：4名（男子1名、女子3名） サポーター等10名

ユースパルでは、人付き合いは得意ではないけれど様々な能力や可能性を秘めた若者を支援しています。自然体験や生活体験等を通して、社会参加を目指すきっかけを提供しています。

今年のきゃんぷでは、さまざまなコミュニケーショントレーニングを通して心と体のリフレッシュを図りました。また、写仏カフェ、タウンオリエンテーリング、里の家（秋田市雄和）でのきりたんぽづくり体験、異国文化体験など多彩な内容を揃え、充実した三日間を過ごしました。参加者からは「一緒に何かをやったり、運動して体を動かす時間があると、心も体もほぐれてきて、安心して過ごせました。」といった感想がありました。その他にも、経験豊かなスタッフの話聞くことができ、勉強になったという感想や今後の活動に対する抱負などが聞かれました。皆さん満足された様子でした。このきゃんぷを通じて、それぞれが明日へのエネルギーを得たようで、笑顔で散会しました。



#### 平成30年度の予定

平成31年1/11（金）～13（日）

## 11 地域青年リーダー養成（H16年度からの事業）

期 日：平成30年1月27日（土）～28日（日）

参加者：11名（男子7名、女子4名）

第14回「お～い！わけ者えだが～!!」並びに第62回秋田県青年問題研究集会を秋田県青少年交流センターを会場に開催しました。今年度は北海道・東北青年団協議会役員研修会と合同で実



施しました。初日は日青協副会長の佐久間祥平氏から「青年団での思い出とこれからの若者に期待すること」という演題でご講演をいただいた後、分科会に別れて、「理想のリーダー像」というテーマで話し合いを行いました。それぞれの問題提起があり、また忌憚のない発言があり、白熱した議論が行われました。その後皆さんで交流会を行い、親睦を深めました。二日目は全体会を行い、昨日の分科会での討議内容を発表していただきました。質疑応答でも活発な意見交換が行われ、大いに盛り上がりました。さらに、日青協事業の「かっけん」を佐久間副会長の指導で行った後、閉会式を行い参加しました。北海道・東北地区の役員の皆様の参加で大変充実した会となりました。



平成30年度の予定  
平成31年1月(未定)

## 12 市町村公民館連携事業 (H21年度からの事業)

青少年の自立・社会参加活動支援事業の一環として実施しています。市町村公民館や地域社会との連携を図り、青少年や団体活動の発掘や育成を目指し、年間を通して社会教育事業を展開している地域を支援します。

※「2018手づくりフェスタ」 平成30年2月24日(土)

八郎潟町えきまえ交流館はちパルで約100名の参加者を得て行われました。さまざまな体験コーナーの他、昔遊びのコーナーなども設けられ、子どもたちの楽しそうな笑顔が多く見られました。



## 平成29年度 学校団体のセカンドスクールの利用状況

利用校種別	学 校 数				利 用 人 数			
	県北	中央	県南	全県	県北	中央	県南	全県
幼稚園・保育所	0	4	0	4	0	158	0	158
小 学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
中 学 校	16	10	11	37	1,682	1,368	1,276	4,326
高 等 学 校	0	2	0	2	0	146	0	146
特別支援学校	0	0	2	2	0	0	102	102
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	16	16	13	45	1,682	1,672	1,378	4,732

### ※セカンドスクールの利用について

学校の授業として、児童生徒が学校を離れた場所で、自然体験、社会体験、共同生活体験などの様々な活動を行います。

※研修室利用料金が無料、宿泊料金が通常の半額程度となります。

※希望により、28人乗りの送迎バスが利用可能です。

※ユースパル研修スタッフ(ファシリテーター)による研修の指導も可能です。

- ① コミュニケーション能力向上体験型学習 (CHR研修)
- ② ニュースポーツ (キンボール、室内ペタンクなど)
- ③ プロジェクトアドベンチャー系ゲーム  
(アイスブレーキングを中心にしたレクリエーションゲーム)



## 平成30年度 秋田県青少年交流センター主催事業（予定）

### 1 学校外教育活動支援事業

事業名	目的	日程等
①高校生徒会 ネットワーク会議	県内の高校生徒会役員が一堂に会し、充実した生徒会活動を推進するための情報交換の機会を提供することで、生徒会ネットワークの形成を図ります。	平成30年 5月18日(金)～19日(土) 秋田県青少年交流センター
②高校生リーダー養成 「ニューリーダーセミナー」	様々な分野の高校生リーダーが集い、充実した活動を推進するための研修と情報交換を行い、リーダーとして必要な資質の向上を目指します。	平成31年 3月上旬(未定) 秋田県青少年交流センター
③高校生のための 主権者セミナー	高校生を対象に投票権の行使や政治的教養について学ぶ機会を提供し、主権者としての自覚の高揚を図ります。	平成31年 3月上旬(未定) 秋田県青少年交流センター
④青少年国際交流事業 I期：韓国訪問 II期：秋田県来訪	海外の青少年との相互交流を通じてその文化や歴史を学ぶとともに、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を身につけた青少年の育成を図ります。	I期：7月下旬 II期：8月上旬
⑤イングリッシュキッズ プロジェクト	県内小学校6年生を対象に、英語を使った活動・体験する機会を提供し、英語をより身近に感じ、自らコミュニケーションをとる積極性を育みます。	平成30年 8月8日(水)～10日(金) 秋田県青少年交流センター

### 2 青少年の自立・社会参加活動支援事業

事業名	目的	日程等
⑥ユースボランティア 認定事業	ユースパル主催事業のボランティア活動に参加された方を対象に、ボランティア活動の認定をします。	対象事業の実施日
⑦ヤングフェスティバル	青少年団体や高校生、大学生等のグループ活動の成果を発表する場を提供することで、若者の活動の活性化を図ります。	平成30年 9月29日(土) イオンモール秋田(予定)
⑧青少年団体間交流会	各青少年団体やグループ、サークルのメンバーが集い、活動内容等の情報交換を図るとともに、団体間での連携や協力関係を深めます。	平成31年 3月1日(金) 秋田県青少年交流センター
⑨ユースパル夜学塾	若者に自分を取りまく社会や地域を見つめ直す機会を提供し、自主性や社会参加意識を育みます。交流によって幅広いネットワークの構築を図ります。	平成30年 6月15日(金) 9月14日(金) 秋田県青少年交流センター他
⑩「なまはげきゃんぷ」	人付き合いが得意ではないが、様々な能力や可能性を秘めた若者(青少年)に、体験活動を通して社会参加を目指すきっかけを提供し、自立を支援します。	平成31年 1月11日(金)～13日(日) 秋田県青少年交流センター他

### 3 その他事業（指定管理者自主事業）

事業名	目的	日程等
⑪地域青年リーダー養成 「お～い！わけ者えだ が～！！」	県連合青年会が主体となり、各地域に住む青年と語り合い、青年団体の再構築を図るためのリーダー育成を支援します。	平成31年 1月(未定) 秋田県青少年交流センター
⑫市町村公民館連携事業	市町村公民館等との連携を図り、青少年や団体活動の発掘、育成を目指し、年間を通して社会教育事業を展開している地域を支援します。	未定 八郎潟町
⑬地域おこし研究事業	秋田県と連携しながら、県内の地域活性化と若者を中心とした組織作りの支援を目指し、地域おこし協力隊などのネットワーク構築を図ります。	未定 秋田県青少年交流センター

※各事業の開催予定日は都合により変更になる場合があります。